

# 新しい生涯学習推進体制について

市には、現在6つの地区公民館と28の公民館分館があります。市町村合併前からの体制を現在も引き継ぎ、旧市町村単位でみると活動拠点の数や体制に差があり、市内で統一した住民サービスを提供できていない状況です。

そのため、地域間の格差をなくして、地域により身近なところで気軽に生涯学習の機会を持てるように推進体制を再編し、令和4年度から新たな学びの場を提供していきます。



## 新たな体制へ

現在の公民館は、ハイトピア伊賀に中央公民館、各支所単位に地区公民館、上野地区・青山地区の各地区市民センターに公民館分館を設置しています。

このように地域によって公民館分館の設置状況が異なり、地区公民館ではそれぞれが事業を行ってきましたが、これからは市全域で均衡のとれた学習体制に再編し、生涯学習を推進していきます。

今後、地区公民館と分館は廃止しますが、中央公民館である伊賀市生涯学習センターには社会教育指導員

を3人配置し、全市的な生涯学習推進の中心的役割を担う拠点として機能を充実させます。



住んでいるところから近くなるね。

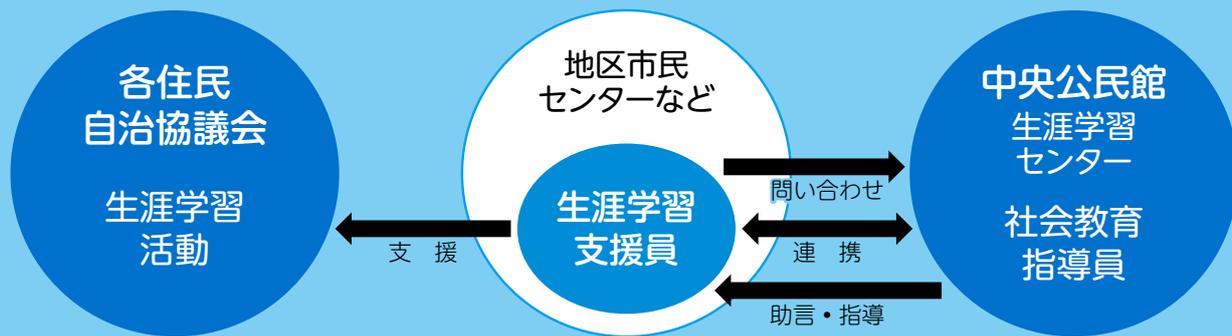
公民館はどうなるの？



また、地域の身近な場所にある市内39カ所の地区市民センターなどを新たな拠点に位置付け、生涯学習支援員をそれぞれ1人配置します。住民自治協議会を中心とする生涯学習活動などのサポートを通じて、地域の活性化につながる仕組みを整えます。

なお、各地区公民館に併設されている図書室は、これまでどおり利用することができます。

## 新体制のイメージ



## 生涯学習活動の例

### 【精神的な豊かさ、いきがい、楽しみのための学び】

レクリエーションスポーツ大会、しめ縄づくり、文化歴史散歩、ふるさと探訪講座、勤請縄祭、昔の道具で世代間交流、男の料理教室、文化祭、ほたる祭り、自主サークル活動 など

### 【さまざまな問題解決、目標達成のための学び】

ふるさとカルタ大会、多文化交流事業、むらおこし「田植え体験」「稲刈り体験」、こども自転車安全教室、獣害防止対策研修会 など

### 【健康づくり、安全確保のための学び】

健康(介護予防)体操、健康ウォーク、環境学習会、グリーンウォーク、防災訓練、HUG(避難所運営ゲーム)体験会、避難所開設・運営訓練、着衣泳体験、人権のつどい、人権フィールドワーク、地域福祉講演会 など

## 生涯学習の役割

生涯学習とは、家庭、学校、職場、地域社会で行われるすべての学習のことです。現在公民館活動として開催している各種講座だけでなく、世代間交流事業や自主防災活動、生活に関わる福祉的な活動など、さまざま

まな地域活動のほか、ボランティア活動なども含まれます。

すでに地域では住民自治協議会が中心となって生涯学習活動が行われています。

市民一人ひとりが身近な場所で生涯学習活動に取り組んでいくことで、活力ある地域づくりをめざします。

## 活動の新たな拠点

### ◆伊賀市生涯学習センター

全市的な講座・教室を開催し、社会教育指導員による地域への指導・助言体制を強化します。また、生涯学習支援員との連携、情報共有を進め、研修などによる人材育成を行いながら、地域間のネットワークづくりにつなげます。

### ◆各地区市民センター

住民自治協議会などが地域活動を進めます。これまで公民館で活動していた自主サークル団体の活動拠点とします。



### 【問い合わせ先】

生涯学習課

☎ 22・6079 FAX 22・6062

✉ gakashuu@city.iga.lg.jp

